

気温2度上昇（3分の2の市域で）などで環境劣化！

巨大A I データセンターが高エネ研南側に建設

日本各地でA I データセンターがもたらす環境劣化に抗議する市民運動が報じられるなか、つくば市、高エネルギー研究所南側に、日本最大と言われる巨大A I データセンターが建設されます。

このA I データセンターの必要電力は100万KW（市内電気供給量の3倍）で、これだけの電力を確保、供給するために、東海原発の再稼働にもつながりかねません。

また、この施設の排熱量は、つくば市全域の2倍と算出され、3分の2の市域の気温が2度上昇すると言われています。暑い夏、熱中症患者急増が懸念されます。さらに排熱を抑えるため地下水を利用することになると、周辺地下水の枯渇も問題視されます。

あわせて、非常用発電機のための重油の大量蓄積や、リチウム電池の使用などで火災の危険性も高まります。その他に騒音・悪臭・電磁波による健康不安も問題です。

このように重大な環境劣化があるにもかかわらず、住民説明会もいまだに開かれていません。

日本共産党は、ただちに住民と対面した説明会を開くべきと考えます。環境劣化を阻止するためA I データセンターの大幅縮小を求めます。

市独自のガイドライン約束

6月市議会で、つくば市は日本共産党の山中まゆみ市議に、市独自のガイドラインを作ると約束しました。



現地調査の山中たい子県議予定候補(AI データセンター建設地・7/25)

データセンター学習会

／みんなで学ぼう！

8月29日(土) 午後2時～

市民ホールやたべ 2階大会議室

講師・日本共産党中央委員会 原発・気候変動・エネルギー問題対策委員会

鈴木 剛さん

